あさカジャ Vol.5

アンニョンハセヨ！
韓国水原（スウォン）市滞在中の湯浅です。

今回は水原市に存在する水原華城（スウォンファソン）、そして毎年水原市で開催されている韓国の伝統的な祭りの一つである華城文化祭について紹介していきます！

🏰ユネスコ世界文化遺産・水原華城
ユネスコ世界文化遺産である水原華城は、水原市にある朝鮮王朝時代の城で、1794年から1796年にかけて国王・正祖（チョンジョ）によって築かれました。父・思悼世子（サドセジャ）の墓を守り、政治・軍事の中心地とする目的で建設されました。全長約5.7kmの城壁に囲まれ、4つの城門や見張り台、矢を放つ施設など多くの軍事建築が特徴です。
水原華城は、朝鮮戦争等により一部が損傷し1970年代に修復され、1997年にユネスコ世界文化遺産に登録されました。修復された建築物が登録されることは珍しく、原設計の文書に基づき忠実に復元されたことからその真正性が保たれ、ユネスコ世界文化遺産に登録さ

れたことにより、歴史的・文化的価値を高く評価されました。現在では、韓国の人気な観光地の一つとなっています。

朝鮮王朝時代の王が滞在した離宮・華城行宮

夜にライトアップされた城壁

徒歩での散策のほか、気球や観光列車から水原華城を観光することもできます。日中も楽しむことができますが、夜間はライトアップされて夜景が美しいのでさらにおすすめです！一部を除き、24時間立ち入ることができるため、夜間に散策している人々も多いのが印象的です。また、韓服の着用や弓道の体験ができる等、多くのアクティビティが充実しています。

周辺には、歴史ある伝統市場やチキン通り、カフェ、雑貨店、土産物店などが集まっていて老若男女誰もが楽しめることから、観光客だけではなく地域住民も多く訪れています。さらに、ドラマや映画の撮影地となった場所も多いことから、視聴者やファンが聖地巡礼で訪れることもあるようです。韓国ドラマをよく見られる方は、撮影地を探しながら観光するのも楽しそうですね！

蒼龍門（チャンリョンムン）と
奥に見える気球

弓道場を眺めながら食事ができるカフェ

🏰華城（ファソン）文化祭

華城文化祭は、今年62回目となる水原華城一帯で行われる韓国の代表的な伝統文化祭りです。

国王・正祖が父の墓を訪れた歴史的な行幸行列を再現した「正祖大王陵行幸（チョンジョデワンヌンヘンチャ）」や水原華城にある華西門を中心にライトアップや映像投影を行うアートイベント「水原華城メディアアート」、伝統公演・芸能ステージ、その他にも伝統茶・茶菓作りや昔の遊び体験等、市民や外国人観光客が楽しむことのできるプログラムも数多く用意されています。

先月28日に行われた「正祖大王陵行幸」は、ソウル市、京畿道、水原市、華城市が共同で再現する大規模なパレードで、今年は31.3㎞の区間で合計4,600人が参加、水原市だけでも2,300人余りが参加し

たようです！
わたしも水原市の目的地である華城行宮（ファソンヘングン）前で観覧しましたが、歴史書などに基づき原形に近い形で再現されたこのパレードはとても迫力があり、朝鮮王朝時代の衣装や小物を纏い歩く姿は、ドラマや映画の一部を見ているようで圧巻でした！

出典Google： https://www.kyeonggi.com/article/20250928580294

そして、水原華城内の西の玄関口であり、華城の西側を防御する重要な役割として築かれた華西門（ファソムン）では「水原華城メディアアート」が行われました。「饗宴」をテーマに正祖大王の夢と理想を、華西門の壁に投影したデジタル映像や多彩なライトアップ、音楽を用いて再現されています。また、それを背景に韓国舞踊やバレエによるパフォーマンスも行われます。
デジタル映像やパフォーマンスが交わることで、より華やかな演出になっています。わたしも観覧しましたが、非常に美しく見ごたえがあり、とても感動しました！
「水原華城メディアアート」は、今月12日まで行われる予定です。

水原華城メディアアートの様子、これはぜひ映像や現地で見てほしいです！

今回は水原市の水原華城について紹介しました。
水原市はソウルから近く、地下鉄やバス、電車で1時間程度で来られるアクセスの良さから、ソウルに滞在する旅行客でも日帰りで行ける場所として人気です。
水原華城は歴史と美しさを兼ね備えた世界遺産で、韓国の伝統文化に触れたり、多くのアクティビティを体験しながらゆったりとした時間を過ごせる場所です。わたしも4月から何度か訪れていますが、毎回新しい発見があったり体験ができるので、本当に魅力ある場所だと感じています。
皆さんも韓国に来る際は、是非訪れてみてください！

それではト マンナヨ✨✨（また会いましょう）